

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2016年8月号

参議選へのご支援・ご協力に感謝・お礼申し上げます。

7月10日投開票された参議院選挙では、野党共闘候補の勝利と日本共産党の比例での躍進という2つの目標でたかいました。

大分選挙区では、野党統一候補の足立信也氏が激戦を制しました。野党共闘の力が発揮されました。

比例代表選挙では、日本共産党は改選3議席から6議席と倍増。得票でも前回比約85万票のばしました。大分市では前回比1,449票のばしましたが、2014年衆議院選挙得票を突破することはできませんでした。



私は、第二回定例会市議会のさなかではありましたが、宣伝、対話・支持拡大、つどい、要求実現に

(仁比参議院議員を囲むつどい) とりくみました。

党の自力をつけることを痛感した選挙でした。

大分県後期医療議会第2回定例会

8月1日、大分第2ソフィアビル2Fホールで開かれました。私は、質疑・討論・質問にたちました。



質疑では、診療報酬改定、入院給食費負担増への保険者、被保険者への影響について、平成27年度決算の一般会計約5億円、特別会計約87億円の黒字の要因

(反対討論する福間)

について。質問では、熊本大分地震被災者への対応について、特例減額措置廃止による保険者への影響などについて、見解を問いました。討論では、相次ぐ改悪は許せないこと、市町村が運営主体となり、住民から遠い組織となっていること。年齢で区切り差別する医療制度は廃止し、元の老人保健法にもどすべきだと主張しました。

来年2月の大分市議選4名必勝を



(戦争法廃止を訴える福間)

4議席の回復をめざし(現職4議席2名、新人2名)で選挙戦に臨みます。私は7期目の挑戦となります。みなさんの力強いご支援とご協力をお願いします。

日本共産党市議団の3つの値打ち

- 自公の悪政と対決、市民の立場で対案しめし、堂々と発言する党
- 国いいなり、大企業優遇をただし、市民との共同で、願いを実現する党
- 市民目線で市政を厳しくチェック、議会を議会らしく改革する党。という党市議団の役割を押し出し、必勝めざし全力をあげます。

低所得者対策で県に申し入れ

8月1日、生存権裁判を支援する大分の会(代表・岡村正淳弁護士)は、引き下げられた生活保護基準を元に戻すこと、



高齢加算を復活することなどを国に要求すること。生活保護基準引き下げによる就学援助など他制度への影響がでないよう措置するこ

(申し入れする支援する会) と。

地域最低賃金をすみやかに1000円に引き上げることなどを申し入れました。私も理事として参加しました。

支援する会は「低所得者の厳しい実態を直視し、人間らしい暮らしのできる制度へ」の構築を強く求めました。

暮らしや地域の要求をお寄せください

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

